

行政相談委員機関誌

あし

令和8年9月

第41号



CONTENTS

〔巻頭言〕	挨拶……………	河南町長・森田 昌吾	………	2
〔寄稿〕	挨拶 これからの時代の行政相談に向けて……………	近畿管区行政評価局長・大槻 大輔	………	3
〔令和8年度全体会議から〕	……………	近畿管区行政評価局行政相談課	………	4
〔寄稿〕	高島市における行政相談活動の取り組み……………	吉武 学(滋賀県高島市)	………	6
〔委員活動報告から〕	行政の制度・運営の改善を求める委員意見の例……………	富田 久子(堺市西区)	………	7
	委員が受け付けた相談の例			
	土原こずえ(泉佐野市)、波多野陽子(大阪市阿倍野区)、永井 明美(大阪市都島区)、			
	川崎 睦子(東大阪市)……………			8
〔自己紹介〕	新任委員さんこんにちは!!(令和7年10月から令和8年5月までの委嘱委員)……………			9
	北摂支部 : 津田 良恵(高槻市)			
	河内第2支部: 松岡 善典(八尾市)、山本 典生(河内長野市)、岩城 良宏(大阪狭山市)			
	泉州支部 : 川崎 隆史(忠岡町)			
〔中央研修〕	令和7年度「行政相談委員中央研修」報告について……………	大阪第1支部 松浦 隆行		
		泉州支部 西野 房男	………	10
〔地相協研修会〕	令和7年度大阪行政相談委員協議会研修会報告……………	研修委員会 委員長・前川 優	………	11
〔各委員会からの報告〕				
	研修委員会……………	研修委員会 委員長・前川 優	………	12
	編集委員会……………	編集委員会 副委員長・角 咲子	………	12
	相談業務委員会……………	相談業務委員会 委員長・井田 一裕	………	13
	広報委員会……………	広報委員会 副委員長・乾 敦子	………	13
	ホームページ運営委員会……………	ホームページ運営委員会 委員長・西野 房男	………	14
	男女共同参画委員会……………	男女共同参画委員会 委員長・辻本 友子	………	14
〔自主研修会〕				
	大阪第1支部……………	米田 道孝(大阪市城東区)	………	15
	大阪第2支部……………	中野 浩志(大阪市天王寺区)	………	15
	北摂支部……………	入江 和廣(箕面市)	………	16
	河内第1支部……………	野村 耕造(大東市)	………	16
	河内第2支部……………	坪本 直子(河内長野市)	………	17
	泉州支部……………	筆野 忠志(高石市)	………	17
		長谷川能一(大阪市旭区)	………	18
		八野 敏子(大阪市平野区)	………	18
		羽田 慶子(吹田市)	………	19
		河野 順子(守口市)	………	19
		藤田 毅(松原市)	………	20
		土原こずえ(泉佐野市)	………	20
特集	アフター			
	大阪・関西万博			
	ショート・ショート	山田 忠彦(大阪市西区)、辻江 正幸(大阪市平野区)、中川 依理(島本町)		
	【私の推し】	濱本 尚子(枚方市)、花岡 茂樹(富田林市)、高橋 香(高石市)	………	21
〔私の住む町〕	〈MY TOWN 泉大津市〉……………	道井 啓右(泉大津市)	………	22
〔大阪あれこれ〕	(第十一回)「45万年の時を超えて」……………	福田みどり(豊中市)	………	23
編集後記……………	編集委員会委員長・原 さつき	………		24

►〔題字〕

總本山四天王寺
出口常順 元管長 揮毫

▶〔表紙写真〕鳥飼仁和寺大橋(寢屋川市)

鳥飼仁和寺大橋は、寝屋川市と摂津市を繋ぐ約0.7kmの橋です。兩岸に河川敷を利用した淀川河川公園があり、広々とした雄大な景観は市内随一で、特に対岸や北摂の山並に夕陽が沈む夕暮れ時は、川面が赤く染まり、川と夕陽が織りなす素晴らしい景色が広がります。

写真と文 寝屋川市 市民サービス部(総務担当)

巻頭言



挨拶

河南町長 森田 昌吾

大阪行政相談委員協議会の皆様には、平素から河南町政全般にわたり格別のご理解とご協力を賜り、心より厚くお礼申し上げます。行政相談委員の皆様におかれましては、住民に最も身近な相談窓口として、日々寄せられる様々な相談や行政へのご意見等に対するご助言をいただくとともに、住民生活の向上に大きく寄与されておりますことに改めて感謝と敬意を表します。

河南町は、大阪府南東部に位置し、金剛・葛城の山々を背に古くから開けたこの地には、一須賀古墳群をはじめとする多くの古墳が築かれるなど、自然と歴史の豊かなまちであります。本町は今年、町制施行70周年という節目の年を迎えます。先人たちが築いて来られた豊かな自然と文化を次世代へ受け継ぐとともに、将来を見据えたまちづくりを進める新たな出発点としたいと考えております。その一方で、私たちを取り巻く社会情勢は大きく変化しており、少子高齢化や人口減少、物価高騰など、住民生活を取り巻く環境も一層複雑化しています。こうした時代だからこそ、住民に最も身近な行政として、社会の変化を的確に捉え、住民一人ひとりの暮らしに寄り添いながら、安心して暮らし続けられるまちを築いていくことが重要であります。

近年の社会情勢に対応するため、本町では、誕生から22歳までの医療費助成や第2子以降の

保育料無償化に加え、幼児教育及び学校給食費の無償化など、子どもを産み育てやすい環境づくりに努めています。また、電子地域通貨「カナちゃんコイン」を活用し、住民の皆様への物価高騰の支援を行うとともに、町内での消費を促し、地域経済の活性化と経済循環の促進に取り組んでいます。

行政への信頼は、住民の皆様の声に耳を傾け、協働していく姿勢から生まれます。行政相談委員の活動は、住民と行政をつなぐ大切な懸け橋であり、本町にとりましても大変心強い存在であります。住民の多様な声を行政運営に生かしていくうえでも、皆様のお力添えはますます重要になるものと考えております。今後とも連携を深め、住民の皆様が「住んでよかった、これからも住み続けたい」と実感できる河南町の実現に全力で取り組んでまいります。

結びに、大阪行政相談委員協議会のますますのご発展と、委員皆様のご健勝、ご多幸を心よりお祈り申し上げ、ごあいさつといたします。



挨拶

これからの時代の行政相談に向けて

近畿管区行政評価局長 大槻 大輔

4月に着任しました大槻です。前職では、本省の行政相談担当の大臣官房審議官を、令和2年から4年には行政相談企画課長を務めていました。近畿管区局の行政相談委員の皆様の御活躍はかねてより、よくうかがっております。

「あし」もいつも楽しみにしており、今回、文章をお寄せする機会をいただき光栄です。

大阪にまいりまして、思いましたのは、まちに活気があって、にぎわいを感じることです。新しくて立派な建物が目立ちますし、人通りも多く感じます。私の生まれは京都市で、大阪にも親戚がいたものですから、子どもの頃の記憶であったり、学生・社会人となって大阪出身の友人たちから聞いた印象と、大きく変わったように思えます。挨拶周りで伺った方にその点を質問しますと、「万博の効果もあるけれど、平成20年代の後半から、外国人の観光客が増えた。人に見られているとの感覚から、まちがきれいになり、いろいろな対応も丁寧になったのではないかと。行政の努力もあって、再開発や公共交通の整備も進んだ」とのことでした。かつて、大阪市の委員さんから、「鉄道駅のゴミ箱の分別表示を外国人観光客にわかりやすいイラストにしたらどうか」との委員意見をいただき、関係省庁に参考通知したことを思い出しました。

とはいっても、大阪の経済、行政がすべて上手く回っているかというと、決してそうではなく、事業者における人手不足は深刻ですし、行政においても、小規模の市町村を中心に人材不足が課題となっているのは、全国的に懸念され

ているのと同様です。ひとり親世帯や独居の高齢者など、行政の支援を必要とされる方々の数は高い水準にあります。いつ起こるかわからない、災害に備える必要もあります。

限られた人材でどのように対応していくか。国民からの苦情であれば、国の各省庁・府・市町村が連携して対応することが肝要ですし、行政相談委員を始めとする行政ボランティアや地域の様々な団体と連絡して、話を聞けたはずの相談を見逃さないことだと思います。生成AIなどの新しい技術をどのように活用していくかも、これからの時代の鍵だと思います。

大阪地相協は、自前のホームページで情報発信し、ウェブ会議もいち早く取り入れられました。自主研修などの活動も盛んと聞いています。ぜひ、全国に先駆けて、大阪発の取組で行政相談を元気にしていただけるようお願いいたします。私どももできる限りお支えしてまいります。



造幣局の桜の通り抜けにて

令和8年度行政相談委員全体会議から

令和8年度行政相談委員全体会議（以下「全体会議」という。）及び大阪行政相談委員協議会（以下「地相協」という。）総会が、5月27日（水）、ホテルアウィーナ大阪（大阪市）において開催されました。

はじめに、大槻 大輔 近畿管区行政評価局長の挨拶がありました。続いて、来賓の大阪府知事（代理：井上 慎一 府政情報室長）、大阪市長（代理：忍 康彦 市民情報部長）及び堺市長（代理：上田 智仁 広報戦略部長）からの御祝辞をいただき、大阪府市長会会長及び大阪府町村長会会長の連名での祝電を披露しました。

行政相談に功勞のあった委員に対して、近畿管区行政評価局長、全国行政相談委員連合協議会会長及び近畿行政相談委員連合協議会会長からの表彰状・感謝状が贈呈されました。また、令和7年秋の叙勲受章者、令和8年春の叙勲受章者、令和8年春の園遊会の被招待者等の披露が行われました。

続いて、近畿管区行政評価局から令和7年度の行政相談業務実績及び令和8年度の行政相談業務計画、行政相談重点方針などについて説明を行いました。

○令和8年度近畿管区行政評価局長表彰（7名）

三輪 淳三	委員	（大阪市中央区）
藤岡 晴美	委員	（大阪市港区）
箱谷香代美	委員	（大阪市平野区）
堀岡 良之	委員	（枚方市）
穂積 常男	委員	（寝屋川市）
和田 圭史	委員	（門真市）
杉木 浩子	委員	（東大阪市）

○令和8年度近畿管区行政評価局長感謝状（13名）

福田 留美	委員	（大阪市西淀川区）
中野 浩志	委員	（大阪市天王寺区）
波多野陽子	委員	（大阪市阿倍野区）
町田 康子	委員	（大阪市阿倍野区）
福留 千佳	委員	（大阪市西成区）
羽田 慶子	委員	（吹田市）
石原 博	委員	（吹田市）
増田 正子	委員	（八尾市）
寺内 伸和	委員	（富田林市）
上西 玲子	委員	（松原市）
佐藤 次夫	委員	（羽曳野市）



令和8年5月27日 令和8年度 行政相談委員全体会議 於 ホテルアウィーナ大阪

八木 一恵 委員（堺市南区）
村田 博司 委員（岬町）

令和8年度の役員体制

（敬称略）

○令和8年度全国行政相談委員連合協議会会長表彰（3名）

木村 啓良 委員（大阪市北区）
阪上 宏平 委員（池田市）
大野 浩 委員（泉佐野市）

○令和8年度近畿行政相談委員連合協議会会長表彰（7名）

三木 一誠 委員（大阪市福島区）
吉原 隆 委員（大阪市福島区）
勝 泰子 委員（大阪市淀川区）
寺本佳世子 委員（大阪市東淀川区）
松浦 隆行 委員（大阪市城東区）
平井 正丈 委員（交野市）
竹中 千世 委員（阪南市）

地相協令和8年度総会

事業計画・予算案など審議

全体会議終了後、地相協の総会が開催されました。山村 武子 副会長の司会・進行の下、議長には辻野 収 委員が選出され、議案の審議が行われました。

第1号議案（令和7年度事業報告及び収支決算報告並びに監査報告）、第2号議案（令和8年度事業計画）及び収支予算）及び第3号議案（令和9年度以降の大阪地相協の会費額及び会費取扱ルール）について説明、審議が行われ、いずれも原案どおり可決、承認されました。



大草 亘 会長 ご挨拶

役職名	氏名
会 長	大 草 亘
副会長	石 川 勝 啓
副会長	加 島 早 織
副会長	河 野 順 子
副会長	加 茂 守 一
副会長	山 村 武 子
総務局長	山 本 文 雄
会計理事	川 西 勝 久
理 事	石 川 忠 秀
理 事	野 上 俊 二
理 事	乾 敦 子
理 事	黒 田 美 子
理 事	坂 本 安 敏
理 事	入 江 和 廣
理 事	大 砂 渉
理 事	交 久 瀬 和 広
理 事	高 萩 佳 由
理 事	森 田 明 彦
理 事	河 原 純 子
理 事	松 本 啓 子
理 事	塩 尻 春 夫
理 事	板 東 正 人
相談業務委員長	井 田 一 裕
研修委員長	前 川 優
広報委員長	羽 田 清 彦
編集委員長	原 さつき
男女共同参画委員長	辻 本 友 子
ホームページ運営委員長	西 野 房 男
監 事	那 須 厚 郎
監 事	松 浦 隆 行



高島市における行政相談活動の 取り組み

吉 武 学 （滋賀県高島市）

私が住んでおります高島市は、滋賀県の北西部に位置し、面積693km²と滋賀県最大の面積の街です。平成17年1月1日にマキノ町、今津町、朽木村、安曇川町、高島町、新旭町の5町1村が合併し高島市になりました。新緑や紅葉の時期に木々のトンネルができるメタセコイア並木や、琵琶湖に浮かぶ鳥居が特徴の「白鬚神社」などが有名です。週末になると京阪神地方からの多数の観光客が来られます。

私は現在、行政書士とお寺の住職として自営業になっていますが、元々、高島市の職員であり、行政相談も担当していた時期がありました。退職して自営業になって間もない頃に当時の行政相談委員から後任になって欲しいと言われ、私にできるだろうか、との想いもありましたが、これまでの経験を活かしてできる事をやってみようとお引き受けしました。

現在は、高島市は3人の委員で相談所や啓発活動に取り組んでいます。

定例の行政相談所は基本的には合併前の旧町村単位の支所や公民館を月ごとに巡回し開設しています。開設の広報が市広報紙だけに集約された影響もあり、また直接、行政機関に相談に行かれる方が増えてきた事から、相談者は少なくなっています。そうした中でも道路・河川の困りごとや、雪国ならではの除雪に関する相談が寄せられています。

相談が寄せられると基本的には3人の委員で行政機関を訪問し相談者の悩みを取り次いでいきます。市の土木課や県土木事務所などは相談に

行く回数も多い事から、行政機関も行政相談制度を熟知されており、こちらの訪問に対して意図をよく汲み取った対応をいただいています。

4か月に1度開設される「行政なんでも相談所」は市役所を通じて区自治会の回覧を利用して、手に取りやすい紙媒体で広報しており、また開催一週間前のスーパー店頭での啓発活動も功を奏しているのか、毎回多数の相談者が来られます。特に近年は相続に関する相談が増え、司法書士・行政書士・税理士のブースがいつも満席となっています。

私自身、行政書士として遺言・相続を取り扱っている事もあり、日頃から多数の相談を受けますが、相続登記の義務化の影響などもあり、市民の方の相続に対する意識の高まりを感じます。

県域での委員の合同研修では、相談がよく寄せられる国道事務所についてお話を聞いたりするほか、模擬事例を元に委員間で意見交換を行いました。特に模擬事例は、玄関先の道路の落ち葉問題など、単に行政機関に繋ぐだけでは解決せず、相談者の思いを汲み取りながら委員が汗をかく必要がある事例などを話し合うため、毎回勉強になるとともに、自分の相談者への対応が機械的な処理とならないように思いを新たにしています。

今後も相談者の心情に寄り添い、行政機関との橋渡しとなれるような行政相談委員として努めていきたいと思っています。

行政の制度・運営の改善を求める委員意見の例



富田 久子
(堺市西区)

(委員意見の要旨)

生活保護を受給している60代独り暮らしの女性との会話の中で、私が、「熱中症になりたくないから、寝ている間も27度でエアコンをつけっ放しにしている。」と話したところ、彼女から、「電気代がかかるから、そんなもったいないことはできない。生活保護では、冬には暖房代の補助はもらえるが、夏には冷房代の補助がないので、節約しなければならない。」と言われた。

この時、生活保護制度に「冬季加算」があることを初めて知るとともに、「夏季加算」がないことを知った。

昨今、温暖化が進み、夏日、真夏日、猛暑日が続き、春・秋が短くなっている。生活保護においても「夏季加算」の創設を考えるべきではないか。



検討状況等

国の熱中症対策実行計画においても、高齢者等の熱中症弱者のための熱中症対策として、エアコン利用の有効性や重要性が明記されており、高齢者世帯が過半数を占める生活保護受給者世帯では、今後一層、エアコン利用の重要性が高まるものと考えられる。

本委員意見の提出を受けて、当局では、関係する自治体や厚生労働省に事情を確認するなどした。その結果、夏季加算の創設要望は、近年、地方自治体、地方議会、各種団体からも厚生労働省や国会等に対し、複数提出されており、国会においても夏季加算の創設についての質疑が行われていることが分かった。また、総務省の行政相談においても国民から同様の要望が複数寄せられているほか、過去にも同様の委員意見が寄せられ、総務省行政評価局から厚生労働省社会・援護局に対し、委員意見の内容が通知されている。

このように、厚生労働省は、生活保護において夏季加算の創設要望があることを既に十分承知しているとみられるものの、一般低所得世帯における夏季の光熱費が、他の月に比べ多くなっている事実がないとして、これまでのところ当該要望に応じていない。

一方で、同省は、「特別に評価すべき必要がある場合は加算制度の創設を考える。」ともしており、今回の委員意見のような働きかけが継続してなされることで、今後、制度の改変もあり得ると考えられる。

※本委員意見は、現在、総務省行政評価局において継続して検討中

委員意見は、委員活動を通じて得られた意見を行政運営の改善に役立たせる貴重な手段です

令和7年度における大阪府内の委員意見の提出件数は5件でした。

提出された委員意見は総務省行政評価局の幹部会で報告され、必要に応じて局所、本省の順に関係機関等に意見聴取や実態調査を行い対応方針の検討を行っています。

委員が受け付けた相談の例

相談のあらまし	措 置 状 況	報告委員
府道に設置されている歩道脇の側溝が危険であるため、安全対策を講じてほしい	相談を受けた委員が市の担当課に連絡し、市の担当者から道路管理者（府の土木事務所）に対し、安全対策を講じるよう依頼しました。 その結果、歩道脇の側溝に転落防止用のラバーポールが設置され、安全対策が講じられました。 	 土原こずえ (泉佐野市)
車いすを押して横断歩道を渡る際、青信号の点灯時間が短く困っているので、点灯時間をもう少し長くしてほしい	相談を受けた委員が現地を確認し、実際に信号を渡る歩行者の状況を把握した結果、杖をついた人が余裕をもって渡ることができず、また、何人かの高齢者はようやく渡り切る状況にあることが確認されました。このため、警察署に状況を伝え、対応を依頼しました。 その後、警察署から電話があり、「時間は少しかかるが、点灯時間を4秒間延長することが整合的であるとの結論で決定した」との回答があり、今後、点灯時間の延長が図られる予定です。	 波多野陽子 (大阪市阿倍野区)
交番の表に設置されている赤色灯が隣家の建物で隠れて見えにくい状態となっているため、見やすくなるようにしてほしい	相談を受けた委員が大阪府警に連絡したところ、所轄警察署から、赤色灯が隣家の建物に隠れないよう「赤色灯の台座を見やすい位置に延長する」との回答があり、工事が行われました。 工事完了後、委員宛てにその旨の連絡があり、相談者とともに現地を確認したところ、赤色灯は見やすい位置に設置されており、相談者からは「以前から他の人からも同様の話を聞いており、何とかしてほしいと思っていた。これで安心です」との声が寄せられました。 	 永井 明美 (大阪市都島区)
戸籍のふりがなの確認通知が届いたが、高齢の母のふりがなが記載されていない。コールセンターに電話してもつながらない。	相談者の家族構成を確認したところ、相談者の母は他市に本籍地があることがわかったため、同市からの通知を待つよう案内しました。 その後、相談者の母の元に通知は届いたものの、ふりがなに誤りがあることが判明し、相談者が高齢の母に代わって本籍地の窓口へ申請に赴くとの話が聞かれました。 そこで、委員が念のため東大阪市に問い合わせたところ、本籍地に赴くことなく同市で受付が可能であるとの回答が得られたため、その旨を相談者に情報提供したところ、大変喜ばれました。	 川崎 睦子 (東大阪市)

新任委員さん こんにちは!!

令和7年10月から令和8年5月までの委嘱委員さんからのひと言

氏名(担当区域) ①趣味・特技・健康法等、②好きな言葉(座右の銘)、③最近印象に残ったことなど



つだ よしえ

津田良恵 (高槻市)

- ①読書。史実や事実を基にした小説が好きです。
- ②「他人と過去は変えられないが、自分と未来は変えられる」
自分を変えることは難しいですが、少し見方を変えると気付くことや気持ちが楽になることがあると思います。
- ③今年100歳になる父が、生きることに意欲を持ち続けていること。



まつおか よしのり

松岡善典 (八尾市)

- ①もうすぐゴルフ歴半世紀です。
うまくなりたいという意欲とは裏腹な最近の成績ですが、ゴルフを通じてアンチエイジングに励みたいと思います。
- ②好きな言葉は、漠然とチャンスを待っていても掴むことができないという古代ローマの哲学者セネカの「幸運とは準備が機会に出会うことである」です。
- ③先日長野県阿智村へ行きましたが、一本の木に赤・白・桃色の花が咲き乱れる花桃は、日本一の桃源郷と呼ばれており三色のグラデーションは圧巻の光景でした。



やまもとのり お

山本典生 (河内長野市)

- ①特にありませんが、国及び本市に関するボランティア活動に奔走してます。
- ②感謝
- ③近い将来にやって来るだろうと予測する南海トラフ等による地震



いわき よしひろ

岩城良宏 (大阪狭山市)

- ①寺社めぐり 今は西国33ヵ所をまわっています。
考古学ファン 特に古代が好きです。古墳をよく見に行きます。
- ②神は試練を乗り越えられない者に、試練は与えない。
- ③子どもが巻き込まれる事故や事件のこと
中東やヨーロッパの戦争のこと



かわさき たかし

川崎隆史 (忠岡町)

- ①レコード収集
サイクリング
散歩
- ②なぜかと問う心を
- ③フルタイムの仕事を終え、昨年末に妻とクルーズ船で旅したことです。
また、行きたいです。平和な世界であっての事です。

令和7年度「行政相談委員中央研修」報告について

大阪第1支部 松浦 隆行 泉州支部 西野 房男

1.概要

令和7年12月1日(月)～2日(火)にかけて総務省行政評価局行政相談企画課が主催する中央研修が東京(KRホテル東京)で開催され、北海道から沖縄まで全国から32名の行政相談委員が研修に参加しました。(北海道礼文島、沖縄県宮古島の行政相談委員の参加もありました)大阪地相協からは大阪第1支部の松浦(大阪市)と、泉州支部から西野(堺市)が参加しました。

2.第1日目・令和7年12月1日(月)

13時からオリエンテーションと菅原希(すがわらのぞむ)行政評価局長から開催にあたっての挨拶があり、参加委員全員の自己紹介の後、「最近の行政相談の動きと行政相談委員の強み」について、山本宏樹(やまもとひろき)行政相談企画課長から基調講演があり、本研修により経験の交流を通じて将来のリーダーを育成したい旨のお話がありました。

その後リモート参加により、大草亘(おおくさわたる)大阪行政相談委員協議会会長から「近畿行政相談委員連合協議会及び大阪行政相談委員協議会の活動について」、資料やホームページに基づいて詳細な講演があり、続いて坂通代(さかみちよ)東京行政相談委員協議会会長から「東京行政相談委員協議会の活動について」の講演がありました。

大阪と東京の両会長の講演の後、参加委員からの質疑応答・意見交換の時間が持たれました。大阪や東京で行っている「なんでも相談」の内容、東京で行っている日本大学などの出前授業の内容、ホームページの運営方法、大阪・東京で行われている部会の運営方法など、様々な質問や意見が出されました。大阪や東京と異なり、「委員相互間の距離が遠く集まること自体が難しい」、「部会活動を行う財政余裕がない」など、各委員がおかれている地域事情の困難性などが明らかになりました。

3.第2日目・令和7年12月2日(火)

・9時から「令和6年能登半島地震及び奥能登豪雨における行政相談活動」について、石川行政評価事務所の高宮和博(たかみやかずひろ)さんから「特別行政相談活動の実施状況」として「ガイドブックの作成・配布」、「特別行政相談所の開設」などの取組状況のお話がありました。

・その後、自らも被災したにもかかわらず、発災直後から輪島市門前総合支所の災害対策本部に医療スタッフ(看護師)として、被災者支援を行ってこられた、輪島市の行政相談委員の飛岡香(とびおかかおり)さんから、震災現場で被災者の皆さんと接してこられた生々しい活動の報告があり、会場に参加委員の皆さんからの声が溢れました。

・その後の質疑応答・意見交換では、飛岡さんの活動や気持ちについての多くの質問がありました。また、苦労したこととして高宮さんから、相談の内容では「全壊か半壊

か」で判断に悩むところが非常に多かったこと、相談する会場の確保に苦労したが相談を受ける関連団体の協力などを得られて助かったこと、などのお話がありました。

・東日本大震災を経験された釜石市の行政相談委員からは、被災者の立場に立った研修と、被災者に「よりそう」気持ちが必要であると感じた旨の報告がありました。

・その後、5,6人で6つの班に分かれ、「行政相談委員活動及び行政相談事例について」について班別の意見交換が行われました。

・昼食後、「行政相談委員意見について」の2度目の班別討議が行われ、全体会議で各班ごとに討議内容の報告が行われました。

・最後に、大槻大輔(おおつきだいすけ)大臣官房審議官から本研修の最後のご挨拶が行われ、2日間にわたる中央研修が終了しました。

4.研修参加の感想

・松浦:日本全国の行政相談委員の皆さんの置かれている状況が様々であり、大阪の状況が相対的に把握できました。北海道の中心部の美瑛町の社協で活動しておられる行政相談委員の方とは、生活保護行政の問題や地元の対応事例など意見交換させていただき、一緒に討議内容の報告を行うなど親しく交流させていただきました。大阪の活動については、全国の相談委員の皆さんから沢山の質問などがあり、注目されているのを感じました。

・西野:東京は何十年ぶりで研修会場のホテルへ行くのに、東京駅から地下鉄乗り換えが初めての人では非常に難しく、皇居の堀の淵をトコトコ歩いて到着。全国区の研修は初めてで皆さんも緊張気味。自己紹介・班別討議などで全国の経験豊富な行政相談委員さんの活動をお聞きし、中には委員意見を18件も出している人もいて感心するばかりでした。

初日の大草会長の公演にも大阪地相協のホームページ運営委員会の紹介もあったので、他の委員さんからも休憩の合間にも色々と意見交換し、大阪地相協のホームページ勉強会にも参加したいと、青森県十和田市の委員さんがオンラインで参加されています。大阪・東京は交通の便もよく他県と比べて人員も多いようで、恵まれているなとつくづく感じました。



地相協研修会

令和7年度大阪行政相談委員協議会研修会報告

研修委員会 委員長 前川 優



令和7年度の地相協研修は施設見学を行いました。

研修委員会では、過去に開催された研修のテーマや会場の実績を踏まえて、可能な限り重複せず、行政相談委員の

職務に役立つ施設見学に向け、検討しました。委員会では、会場やテーマなどを出し合い、3回目の委員会を当日の運営実務の手順確認などに充て、積極的な討議が行われました。

検討の結果、令和8年2月20日に大阪市中央区所在の大阪企業家ミュージアムを見学することに決定し準備を進めました。

大阪企業家ミュージアムは、大阪で活躍した企業家の足跡をたどる博物館で、明治以降の多くの企業家について、写真やパネル、ゆかりの品などで紹介しています。

松下幸之助、小林一三、安藤百福、五代友厚などの大阪を代表する企業家はもとより多くの先人の方々の熱い思いや苦難の道、そして「万博との関わり」など、テーマ展示や特別展も行われています。

見学に先立ってご出席いただいた近畿管区行政評価局長にご挨拶いただき、2班に分かれて、まずはA班が施設内見学を、そしてB班が施設職員によるレクチャーを受け、その後班を交替する方法で行いました。

かつて学んだ日本経済史の教科書の学び直しのような内容の濃い展示で「ああ、あの会社は

あの人が設立に関わっておられたのか」と気づかされるような場面もあり、大阪の地で行政相談委員活動をする中で、もうひとつ地域の誇りを重ねることができました。

大阪府は南北に長く、研修場所を北部あるいは南部に設定すると参加する委員の時間的な負担も大きく、それがひいては会場に行くのにずいぶん時間がかかってしんどいな。今度は遠慮させてもらっておこうということで間接的に研修の機会を奪うことになりかねないと考えていますが、その意味では府の中心部でもあり、気軽に参加できる研修会になったのではないかと感じています。

コロナ禍以降地相協の研修会への参加者は減少傾向にあり今回は50名の出席でしたが、書面開催やWEBでの研修では経験することのできない体験と、普段はめったに交流することのできない他支部の委員の方々との触れ合いなど、研修会の直接的な学びだけではなく多くの成果を得ることができたのではないのでしょうか。

日常の行政相談活動とは一見何の関係もないような施設見学であるように見えても、そこで得られた知識とふれあいによって今後の活動が厚みを増していくのだと思っています。参加された皆さんの感想はいかがでしたか。お気づきの点をどしどしお寄せ頂ければ今後の糧にしていきたいと思っています。

研修委員会

委員長 前川 優



研修委員会は2年を任期として各支部が輪番で、令和7年度・8年度は、泉州支部が委員長の任に当たっています。

主要な任務は地相協研修の計画立案と研修会の運営で、8名の委員で構成され7年度は文書開催を含め4回の委員会を開催しました。

7年度は施設見学を行うこととして計画・立案を進め、各委員から積極的な意見が出される中、可能な限り支部の自主研修と重複しない施設とすること。そして集合場所や交通機関の便など参加者の皆さんの負担にならないようにしたいということも踏まえながら見学施設の検討を行いました。

令和8年2月20日に大阪市中央区の大阪起業家ミュージアムで催行することになり会場の下見などについては事務局にも協力いただいて当日を迎えました。50名の参加がありました。

我々にとって馴染みのある企業家は勿論のこと、このような方が大阪経済のフロンティアだったのかと再認識もし、大阪で行政相談活動に携わる者として、別の側面から誇りを感じる見学であったと思っています。

年度最終の研修会の後、昼食会を開催し交流を深めました。8年度の研修をどう実りあるものにするのか、各委員の頭の中ではプランが膨らんでいます。

編集委員会

副委員長 角 咲子



「あし」41号作成について3月23日に第1回編集委員会を開催し、41号の編集方針、各記事のテーマや、各支部の分担などについて話し合いました。

1月の編集委員会の研修の後の懇親の場で「特集」や「ショートショート」を何にするかで大変盛り上がったのでした。ほぼ方向性が決まっていたので、第1回編集委員会はスムーズに進みました。特集では「アフター万博」にしよう。去年は好評のうちに閉幕した関西万博。まだ余韻に浸っていると、グッズの売り上げが上昇中とかのニュース、万博の遺産（レガシー）は何かなど、様々な意見が出たのです。また「ショートショート」は、今風に言えば夢中になっていること、ヒト、モノ・ことを指す「推し」でいこうと。

5月11日の第2回編集委員会では、各支部から集まった原稿を全員で、チェック。書かれた方の思いに寄り添いつつ、読みやすく読点を打ったり、字数に収まるよう話し合ったり集中するも、学びの時間でもあり楽しい2時間越えでした。

今後約2回の編集委員会で1次校正、2次校正を経て校了となります。

次号も、6ブロック行政相談委員の多くの皆様の原稿を寄せていただきたく願っています。原稿依頼があったとき、快く受けてくださっていることに感謝申し上げます。

相談業務委員会

委員長 井田 一 裕



行政相談制度の利便性向上を促進し、地域住民の潜在的な行政に対する苦情、意見、要望を発掘するとともに、行政相談委員制度の普及・啓発を図る観点から、

大阪行政相談委員協議会主催の「暮らしと行政
なんでも相談」と銘打った一日行政相談所を6
支部輪番制で年1回行政相談月間に開催してい
ます。令和7年度は、大阪第一支部が担当し11
月21日(金)鶴見区民センター2階つるみ日建
ホールで開催しました。開催に先立ち11月12
日(水)広報委員会と協働でイオンモール鶴見緑
地とおおさかパルコープ鶴見店で、21日開催
当日は鶴見区役所他で開催案内チラシを入れた
ポケットティッシュを配布して街頭キャンペー
ンを実施しました。

相談項目は、法律（弁護士）、登記（司法書士）、税金（税理士）、相続（行政書士）、男女・家庭（行政相談委員）、年金（社保労務士）、行政（近畿管区行政評価局・行政相談委員）で、相談件数は55件でした。相談に来られた方からは「親切・丁寧に対応して頂き良かった」「相談して肩の荷が下りほっとした」との言葉を頂きました。また、相談にあたり士業の資格を有される行政相談委員のご協力をいただきましたことに篤く感謝申し上げます。

令和8年度は、11月27日(金)北摂支部の担当
で、茨木市役所での開催を予定しています。相
談項目の充実及び行政相談委員制度の普及・啓
発を図っていきたいと考えておりますので、関
係者の皆様のご協力をよろしくお願いいたします
ます。

広報委員会

副委員長 乾 敦子



毎年、年3回の広報委員会を開き、その年の広報物品等について話し合います。昨年度まではエコバックについて色々な形や色等を考えて作成しました。一応

ファスナー付きの大きめのエコバッグを作り、集大成しましたので、みなさまに昨年の全体会議でお配りしました。あのエコバックが良かったのか、悪かったのか、どなた様からのご感想もご意見も入って来ず、どうだったのかしら？と思っています。

さて、今年度は街頭キャンペーンで使用する幟旗が使用できなくなったので横断幕の作成をしました。キクーンを配置し、色合いや大きさ等色々考えて作りました。もう既に使っておられる地区もおられると思います。他は新任委員さんのキクーンのキャップ、また不足分のティッシュやボールペンを購入しました。

11月の「暮らしと行政なんでも相談」では、相談業務委員会と共に鶴見区でティッシュ配りをしました。かつてティッシュ配りをされていて、不意に人から声をかけられ「日当を払って、ティッシュ配りをさせている。税金の無駄遣いだ。」と言われたことがあります。「違います。我々はボランティアです。」と言っても納得されず、行政相談委員の役割から説明してやっと理解していただいたと言うことがありました。なかなか皆様に行政相談が周知されておらず、もっとしっかりと啓発しないといけないと思います。支部街頭キャンペーンでは、地区の委員さんが駅ターミナルでティッシュ配りをして行政相談の啓発に努めました。

ホームページ運営委員会

委員長 西野 房 男



ホームページ運営委員会は、ホームページ、フェイスブック、X（旧ツイッター）を通じて、行政相談委員活動（出前教室・懇談会・街頭啓発・委員の会議研修・改善事例等）を広く市町村の住民の皆様にご覧いただき、行政相談委員制度の啓発と、委員相互間の情報交流を図ることをめざしております。

令和7年度では、活動報告のホームページへの掲載回数70回、ホームページ運営委員会4回、運営委員の技術力向上のための技術研修会7回、全相協発行の「行政相談委員のためのキクーンのス마트ホン講座」の冊子を使って、一般委員の皆様も参加（オンラインでも可能）いただける勉強会を9回開催いたしました。

また、総務省行政評価局からの「行政相談委員のデジタル活用に係る研修教材動画リンク」として5つのYouTube動画を教材にした勉強会も開催しました。

ホームページは委員活動後の報告を掲載していましたが、先の予定なども掲載できないかとの声もあり、7年度の後半より試行錯誤しホームページのトップページの活動項目の下に「理事会・総会等の行事予定」・「支部の行事予定」・「委員会の行事予定」という項目を新設し、ここをクリックしていただければ「行事名、日時」・「場所」・「会場案内地図」などが、パソコンやスマートホンで簡単に確認できるようになりました。

下記QRコードをスマートホンで読み取って、一度お試し下さい。また、今年度の勉強会へのご参加もお待ちしております。



男女共同参画委員会

委員長 辻 本 友 子



第1回委員会（4月18日）

令和7年度に開催する男女共同参画に関する研修についての検討

第2回委員会（7月11日）

行政相談月間中開催される「一日合同行政相談所」・「暮らしと行政なんでも相談」等へ対して当日出席する男女共同参画委員についての検討

次回の自主研修会について検討

第3回委員会（11月6日）

男女共同参画に関する自主研修会

講師・当委員会、富田久子委員

「相談で大切にしていること」

次回予定の近畿管区男女共同参画委員との研修についての検討

第4回委員会（1月29日）

近畿管区男女共同参画委員の参加による研修

講師・久保洋子氏（防災士）

「男女共同参画の視点からの防災・減災」

講演後、近畿管区男女共同参画担当委員と意見交換をし、交流をした。

なお、大丸心斎橋店南館8階で開催されていた「大阪総合行政相談所」男女共同参画相談受付担当については、同相談所は2月28日をもって閉鎖されるにともない終了した。

大阪第1支部

米田道孝（大阪市城東区）



・日 時

令和8年2月17日（火）

12：00～

・場 所

読売新聞大阪本社会議室

・参加者 大阪第1支部委員

令和8年2月17日（火）読売新聞大阪本社（北区）において、大阪第1支部自主研修会が開催されました。大草支部長、山根部長のご挨拶の後、大阪本社印刷工場の概要説明を受け、2班に分かれ印刷工場で印刷・配送の様子等を見学、新聞が作られ配送されるまでの工程を分かり易く説明されました。大阪本社工場では読売新聞の朝夕刊を印刷し販売店を經由して、大阪市内や大阪府、兵庫県、奈良県、和歌山県などに配送されていること、様々な近畿圏の自治体広報紙や地域情報紙の受託実績もあることなどの説明もありました。

工場見学終了後、読売新聞記者 戸田聡氏より「記者に学ぶインタビュー講座」を受けました。様々なメディアで画像や映像の高精細化が進むなかで新聞印刷もより高い品質が求められていること、また人材育成の一環として、女性オペレーターの採用の推進、ワークライフバランスの取組などの報告があり、新聞報道現場の様子が紹介されました。

その後、多数の質問意見が出され有意義な自主研修会となり終了しました。

大阪第2支部

中野浩志（大阪市天王寺区）



令和7年11月28日（金）12

時25分～16時に大阪第2支部自主研修会が読売新聞大阪本社で開催されました。

始めに石川支部長と竹中局

長の挨拶があり、工場見学後に元新聞記者の方に講演を頂きました。

工場見学では、オフセット輪転機の説明を頂き、今ではカラー印刷が主流で、自動で折りたたんだ新聞がセットになって大量にできる様子を現場で体験できました。また、印刷のチェックを作業員がこまめにし、人力の大切さを感じました。遠方へ配送される新聞から印刷がされるので、特ダネニュースが入ると急遽記事の変更が入り近辺の新聞では内容が最新の記事に変わる事を聞いて驚きました。

講演では元新聞記者の方のお話で、インタビューでのポイントを教えてもらいました。

「良い質問」のポイントでは相手のこだわりをインタビューし、お互いに話を深める事が大切で、実際に2人1組で「こだわり」のインタビューを会場で実施して大変盛り上がり、楽しく研修させてもらえました。今回、行政相談で話を聞いていくのに貴重な体験ができました。これからの活動に活かしていきたいです。

北摂支部 入江和廣（箕面市）



令和7年11月14日（金）、
以下の内容で自主研修会を
開催しました。

- ① 「アサーションについて」の講演

講師：今岡まゆみ(オフィス今岡代表)

内容：自分も相手も大切にしながら、率直に
自分の意見や気持ちを伝える「自他尊重の自
己表現」のスキルについて講演を頂きました。

- ② 箕面市のコミュニティーセンターについ
て、地域住民がボランティアで会館運営委
員会を組織して、運営に当たっていること等
を中心に紹介。また、当該コミュニティーセ
ンターを利用している「大阪ハイドンピアノ
トリオ」による演奏会を鑑賞しました。
- ③ 懇親会：箕面の地で生まれた、ローカル
ビール「箕面ビール」世界のコンクールで8
度の金賞受賞など、世界のビール好きにも評
価されたクラフトビールのお店で開催しまし
た。オーナーによる「箕面ビール」の紹介で
は、地域の自治会と共催のイベントを開催す
るなど、地域とともに発展したいとの思いも
お話しされました。

この度の自主研修会には、支部内の多くの委
員に参加頂き、誠に有難うございました。懇親
会では皆さんが親しく談笑しているお姿を拝見
し、開催市としてホっといたしました。

河内第1支部 野村耕造（大東市）



令和8年1月16日（土）自主
研修会が、大東市立市民会
館中会議室で開催されまし
た。

会議は支部長の挨拶と、
各来賓の方々の挨拶と紹介があり、令和7年春
の叙勲（瑞宝双光章）を受章された河野支部長
への記念品贈呈式がありました。

その後、現地研修会ということで観光バスに
て神戸市にある阪神・淡路大震災記念「人と防
災未来センター」に向かいました。奇しくも当
日が阪神・淡路大震災の前日で、支部長、ご来
賓の挨拶も防災を交えたお話があったり、セン
ターの周辺は翌日の追悼式典準備の会場設営が
されていました。

まず西館4階の震災追体験フロアに上がり、
震災当日の映像を見て、3階の震災記念フロア
で思い出の展示品等を見学しました。2階の防
災・減災体験フロアへと進み、連絡通路を渡り
東館1階のこころのシアターで「にげよう」の
テーマ映像を見ました。約2時間の施設見学を
終え、31年前を振り返り、防災の大切さを実
感する機会となりました。

最後に記念の集合写真を撮り、自主研修会は
無事終了しました。

研修会終了後、大東まで戻り恒例の懇親会が
あり、いろんな情報交換の場となりました。

河内第2支部 坪 本 直 子（河内長野市）



「奈良県三郷町と社会福祉法人檸檬会のコラボ事業にふれて」

令和7年12月3日(火)、研修会参加者は、奈良県生駒郡三郷町の駅に集合しました。目的地までは、スクールバスを利用し、降りた場所は広大な山の斜面に美しく整備された元大学のキャンパスでした。

①講 演

社会福祉法人檸檬会 ソーシャルインクルージョンヴィレッジ村長の鈴木 麻友子氏による「教育と社会福祉の総合コミュニティ」をテーマに、働く・遊ぶ・暮らす・学ぶを目的に会社・企業・自治体がコラボした事業の展開の話。

②施設内の見学

- ・「おもちゃ美術館」とカフェ、ショップ（木育推進型子育て施設）
- ・海外留学生（日本語学校）の授業見学…文部科学省認定校
- ・障がいに応じた作業の見学

③施設内レストランでの会食（バイキング方式）

帰路につこうとした時、おもちゃ美術館から2、3歳のお子さんを連れて帰られるご両親のご様子がとてもおだやかで楽しそうに会話されているのを拝見し、「楽しい時間を過ごされたんやなあ。」と、感じました。

まだまだ、将来への事業の展望（計画）がありと伺い、応援したい気持ちになりました。講演や施設見学に触れ、たくさんの情報を得た貴重な研修になりました。

泉州支部 筆 野 忠 志（高石市）



令和7年11月13日、自主研修会を高石市の「アプラたかいし」で開催いたしました。

当日は、阪南市の「重層的支援体制整備事業」をテーマに、阪南市市民福祉課及び、社会福祉協議会の職員の方から詳しく内容の説明がありました。

私はそれまでその言葉さえ聞いたことがありませんでしたので、大いに勉強になりました。

「重層的支援体制整備事業」というのは、私たちが抱える課題は複雑に組み合って成り立っており、その課題の属性（高齢・障がい・子ども・生活困窮など）を超えた支援を円滑に行おうとするもので、地域づくりの仕組みを確立しようとするものであるとのことです。

阪南市では国のモデルを踏襲するのではなく、これまで市独自に蓄積された地域福祉基盤を踏えて公民協働で進め、行政を中心とした「公」と社会福祉協議会を「民」の要として、住民の組織化、社会資源の開発などを行政とともに進めていると説明されました。具体的には、住民による見守り、生活支援、居場所づくり（独居高齢者の訪問・災害時の安否確認・まちなかサロンカフェなど）を実施し、さらに若者を中心として、農福連携・漁福連携による参加の場の開発、子ども福祉委員等々すべての人の生活の基盤として、地域を作りあげていけるよう日々活動しておられるとのことです。

以上の話をお聞きし、私たちも日々の活動を通して、地域の福祉の向上に少しでもお役に立てればと考えた次第です。

長谷川 能 一（大阪市旭区）



1958年生まれの私にとって3回目の万博が、地元大阪にて開催されました。1回目は、1970年に吹田市で開催され、2005年には「自然の叡智」をテーマとして愛知

地球博が名古屋市で開催され、2025年は「いのち輝く未来社会のデザイン」をテーマに大阪・関西万博が4月13日から10月13日までの184日間、大阪の夢州で開催されました。

私は9月になって初めて訪れたため、連日このパビリオンも大混雑で入ることも、世界各国の料理を味わうこともできませんでした。カジュアルダイニングも混雑でゆっくり食事をすることも出来ずじまいでした。仕方なく大屋根リングの上から各パビリオンの建物を見渡して、外観だけ楽しみました。

未来、子どもや孫たちが大阪・関西万博のことを振り返ることがあれば、「お爺ちゃんに連れて行ってもらった大阪万博は、すごく混雑していたけど、行ってよかったね」と家族と会話しているだろうか。

最後に、各国のビールをいただきましたが、「やっぱし日本のビールが一番美味しかった！」

5月1日から万博記念公園でアフター万博イベントが開催され、東心斎橋ではヘルスケアパビリオン「量子飛躍する美の世界」の移設展示もされました。

八 野 敏 子（大阪市平野区）



2025年4月15日、私の万博が始まりました。2日前の開会式はあいにくの雨で、ブルーインパルスの飛空も中止になり、何かついてないと思いましたが、初めて万博会場に足を踏み入れ

て・・・これは何！？目の前にそびえ立つ大屋根リング、各国のパビリオン、そしてスタッフの弾ける笑顔、世界中が夢洲に集まって光り輝いていました。

この日から毎週万博に通う日々が続きました。アメリカやドイツ、イタリアなどはもちろん、中東の国々、名前も知らない小さな国のパビリオンも最高でした。また、日本が誇る企業のパビリオンは体験型で工夫されていて、大阪ヘルスケアパビリオンでは25年後の自分と対面。母にそっくりな自分が出てきて笑ってしまいました。

毎回行ったのは夕暮れの大屋根リング。西の空の夕焼けを見た後には、ライトアップされたパビリオン。楽し気な歌にダンス、また来場者も参加してのパフォーマンス。「本当にここは大阪なんだろうか？」まるで夢を見ているような世界が広がっていました。

最終日ドローンによって映しだされたミャクミャクに「またね」と手を振られたとき、本当に終わってしまうんやなあと、とてもさみしく感じました。

合言葉は「5年後サウジアラビアのリヤドで会いましょう」2026年になり突然始まった戦争によって中東の治安が悪化し、今のところリヤドには行けませんが中東地域が落ち着いてまたみんなで笑って再会できることを心から祈ります。

羽田 慶子 (吹田市)



1970年に吹田市で開催された万博の時、私は12歳でした。会場の広さやパビリオンの大きさ、デザインに圧倒されたことを今でも鮮明に覚えています。

そして2025年、大阪関西万博が開催され、早速アプリを取り、予約するのに四苦八苦しながら夢洲へ！ 会場やパビリオンのスケールは1970年に子どもの頃に感じた感動を思い出させるものでした。それ以上に、大屋根リングの美しさには感激しました。清水寺と同じ「貫工法」という伝統工法で作られた大屋根リングは木の良い香りがして、風が心地良かったです。1970年の万博では、携帯電話、電気自動車、人間洗濯機等が紹介されていましたが今回はさらに進化し、人間洗濯機や、タッチパネルで料理ができる、トイレは使用するだけで健康チェックができる等、皆が健康に暮らせるよう一人一人のライフスタイルに寄り添った家ができる未来を予感させてくれました。

万博終了後、大屋根リングの一部は公園のベンチや被災地に、パビリオンや設備なども再利用されるそうです。人気だった企業のアトラクション、レストランはアフター万博として楽しめています。

ミyakミyakも各都市を回っています。万博ロスだった私はもう少しその余韻を楽しみたいと思います。



河野 順子 (守口市)



大阪・関西万博閉幕後の大阪メトロ中央線は、一般の乗客がほぼいません。同線に乗って往復ギュウギュウ詰めで万博へ通ったことが、むしろ懐かしく思えます。1970年、第1回の大阪

万博閉幕後のオイルショックやバブル経済崩壊の悪夢が、ふと頭をよぎります。

さて私事ですが、私は万博結婚でした。1970年の大阪万博で主人となる人と巡り合い、求婚され、両家の承諾の元、その年の10月に結婚しました。それから55年の年月を経て、2回目の万博が開催されるということで、とても楽しみにしていましたのに、主人は84歳で病によりお浄土へと旅立ってしまいました。主人のいない万博となってしまいましたが、子どもや孫に連れられて6回行きました。

大屋根リングやブルーインパルス、水上ショー、花火大会、各国のパビリオン・・・すべてが感動です。暑い時にドイツ館で飲んだ冷たいジョッキでのビールは美味しかった!!

今、私の机の上に真新しい分厚い世界地図帳と地球儀がおかれています。万博閉幕後に知らない国の名前がでてきたら、すぐにさがし、世界を手中におさめる気分です。万博でしか味わえない経験やご縁に感謝しています。

一緒に行けなかった主人に、荷物にならないお土産話、思い出話がたくさんできました。



藤田 毅 (松原市)



会場ボランティア活動に参加。

開幕前はパビリオン建設の遅れ、メタンガスが危ない、会場へのアクセスが？など不安な声が多く聞かれた。しかし、ミャクミャク

の人気上昇とともに来場者も増加し、無事閉幕した。

会場ボランティアの活動は来場者へパビリオンやトイレ等の会場案内が中心。時には記念写真のシャッターを切る、リユースの担当では食器の回収作業も行った。

そして、午後9時からの活動は会場を去られる方々のお見送りである。「さようなら、また来てね。グッバイ！」とペンライトを振って送り出す。反応はすごく良くドローンショーや花火を見た後、多くの来場者は「楽しかった。さようなら」とハイタッチをしてゲートに向かわれる。

ナショナルデーでは、真夏の猛暑日にもかかわらず、自国の民族衣装を着てダンスを披露。国名も知らなかった国のダンサーが演技終了後、汗びっしょりになって控室に向う姿に「万博ってすごいなー」。一つの平和の祭典に世界中の人々が集まり、祭典の成功に向け各々が一所懸命に取り組んでいる姿に感動した。そして、人間洗濯機や自動運転という新しい交通システムが近い将来身近なものになって欲しいと思った万博だった。



ボランティア仲間と

土原 こずえ (泉佐野市)



2025年4月13日から10月13日まで約半年間「いのち輝く未来社会のデザイン」をテーマに「2025年日本国際博覧会」(大阪関西万博)が開催されました。閉会されて約半年が過ぎました。

天皇陛下、皇后陛下がご参列された開会式の模様はとても華やかなイベントとして、今も私の脳裏に浮かびます。

開催を前にしてニュースで様々な情報が流れて、万博はどうなるのだろうと府民の皆さんの不安も多かったと考えます。しかし関西万博は想像以上に大成功しました。多くの人々に未来社会の姿を示し、大きな感動と学びを残しました。私も万博に興味を持って数回足を運びました。

またイメージキャラクターのミャクミャク、公表された当初は「不評」でしたが、「大人気」となり、万博が閉会した後も大阪・関西万博の顔として想像以上に成功したキャラだと実感しています。「アフター万博のミャクミャク効果」は地域経済に効果をもたらし続けているのではないのでしょうか？

閉会后「万博ロス」に陥り、もっと行けばよかったと後悔しています。この度大阪・関西万博のシグネチャーパビリオンの一つである「ダイアログシアターいのちのあかし」を泉佐野市に移設できることが正式に決定したことを知り大変感動し、うれしく思っています。

今後は万博で得た成果を地域の発展や暮らしの向上につなげていけることを心から願っています。

ショート・ショート(私の推し)

山田 忠彦 (大阪市西区) 	F1は世界で年間24戦行われるカーレースの最高峰で、ドライバーは世界にわずか22人しかいません。そのF1にドライバーとして参戦する角田裕毅選手が私の推しです。 彼は25歳と若く実力は十分備わっています。近いうちにレギュラーシートを確保し再びレースに戻ってくるでしょう。そうなれば日本人初のレース優勝を達成してほしい。期待を込めて応援していきます。
辻江 正幸 (大阪市平野区) 	定年後の私の正装は、歩きやすい靴と御朱印帳です。ウォーキングという「参拝遠征」は、煩惱を払う修行のはずが、限定御朱印を前に物欲が爆発する矛盾の連続。歩数計を忘れた日の「徳を積んだのにノーカウント」という絶望感は、まさに現代の悲劇。 そんな足を軽くするのは、若者に混じって奔走する推し活！健康診断より心拍数が上がるあの情熱。「膝は大事に、推しと御朱印は熱く」を合言葉に、第二の人生を笑い飛ばしながら歩んでいます。
中川 依理 (島本町) 	今まさにダン・ブラウンの『シークレット・オブ・シークレッツ』にハマっています。 彼の作品は何作も映画化されていますが、活字で読んでも映像が頭の中に溢れます。もちろんフィクションですが「これは実際にあったこと？」「これから起こるかもしれないこと？」とワクワクします。ただ今作のヒロインが「純粋知性科学者」ということで専門用語が難しすぎて…今日イチ難解ワード【イオン・電子混合導電性高分子による変調】っていったい？
濱本 尚子 (枚方市) 	私の「推し」は映画館での映画鑑賞です。今の時代自宅でネットでも気軽に観られますが、取って時間を捻出し、映画館でコーヒーを片手に映画の世界を楽しんでいます。中でも特にミニシアターがお気に入り。一般上映館では上映されない貴重な作品や多様性に富んだ作品内容はミニシアターならではのものです。 情報を調べて作品選びをするのも楽しみのひとつで、京都や梅田、十三等々のミニシアターに出かける非日常のひとつときはおすすめです。
花岡 茂樹 (富田林市) 	私の健康法 3年前に脊柱管狭窄症の再発で歩けなくなり、医師と手術の検討をしていたところ、従姉が「ストレッチポール」(健康器具)を持ってきてくれました。月1回の講習指導を受けながら、家では毎日お風呂の湯船で片脚ずつ90度の足上げ10回2セット、膝の引付け10回1セットをし、就寝前にはポールに仰向けに寝ながら、腕を回転させたり、足でバイバイする動作をそれぞれ30回しています。これで足の痛みは無くなりゴルフもできるようになりました。
高橋 香 (高石市) 	私の推しは、保育所の子どもたちです。7年前に、近所の保育所で朝夕1時間半ずつ仕事を始めました。朝から子どもたちと一緒に園庭を走り回ったり遊んだりする時間は、私にとって元気をもらえる大切な時間です。 3人の息子が遠く離れてしまって寂しく思うこともあるのですが、保育所の子どもたちの笑顔や日々の成長を感じることでとても癒されています。 純粋で元気いっぱいの子どもたち、そんな私の推しの笑顔これからいっぱい見れるように毎日頑張っていきたいです。

私の住む町

MY TOWN 泉大津市



私が今住んでいる泉大津市は大阪府の南部に位置し、海に面した面積約14平方キ

ロの町です。人口は約7万2,000人。ここは海運や紀州街道などの人の動きも加わって昔から流通の要となっていたところです。和泉国府の外港でもあったところから、「泉大津市」という名前になっていると聞いています。市はその後、重要な綿作地であったことから、これらをはじめとする繊維産業の重要な拠点として発展してきました。そんな町で生まれ育った私は、子どもの頃街中から“がちゃんがちゃん”という繊維の機械音があちこちから聞こえていたのを思い出します。こうした繊維産業の中でも特に毛布産業は、加工や商品開発・分業制の確立により発展し、全国シェアの約9割を占める、現在の市の大きな特徴となっています。毛布産業が発達していることから、人々も「あったかい」気質を持つと言えるかもしれません。街中で行われる秋祭りである「だんじり祭り」が大変熱心に行われており、住んでいる人々の「あったかさ」を強く感じられる町です。こうした市において、私は市政に関する様々なお仕事に多様な形で関わっております。

そして最近強く思うのは、「あったかい町」の他に「あたらしい町」というイメージをよく感じるようになってきたことです。市名の由来となった港湾地域も大きく整備が進められ、関西国際空港の開発とあわせて、新たな人の流れや情報、物流の広がりが感じられます。昨年、市民に対して市の斡旋でお米の廉価販売も行われました。農業との連携も進み、市の取組には新たな先進性が感じられます。また市の施設の

道井 啓 右(泉大津市)

開発についても、市民の要望を取り入れながら進められているようです。特にシーパsparkといった、大規模な公園は構想段階から市民の声を取り入れ、完成後も市民や事業者のニーズを取り入れて開発されてきました。私自身も知り合いと集まって立派なベンチをこの公園に寄付し、それに関するランニングなどのプランを応援している次第です。また駅の近くに開発された図書館シープラは、市民の利用に関して様々な工夫が凝らされています。単に本を読むだけでなく、飲み物の提供といったサービスもされています。また、情報提供にも大変熱心で、居心地の良い空間となっており、人々のさまざまな創造が交わる場となっています。この他にも健康、子育て、教育、防災などに関する多くの取組がありここでは書ききれません。私が住む町泉大津市は紛れもなく市民の「あったかさ」と「あたらしさ」が支えるいい町だなあと実感するところであります。



港湾



シーパspark

45 万年の時を超えて

福田 み ど り(豊中市)



私たちの街豊中市に、かつて「巨大な主」が息づいていたことをご存知でしょうか。市の北部に位置する待兼山(まちかねやま)。現

在は大阪大学のキャンパスが広がり、若者たちの活気で溢れるこの地で、今から62年前の1964年、理学部校舎の建設現場から驚くものが発見されました。それは、全長約8メートルにも及ぶ巨大なワニの化石でした。

ワニの多くは熱帯や亜熱帯の気候を好み、現在の日本には生息していませんが、45万年前の豊中は温暖な気候で、湿地や河川が多く、ワニにとって理想的な場所だったと考えられています。

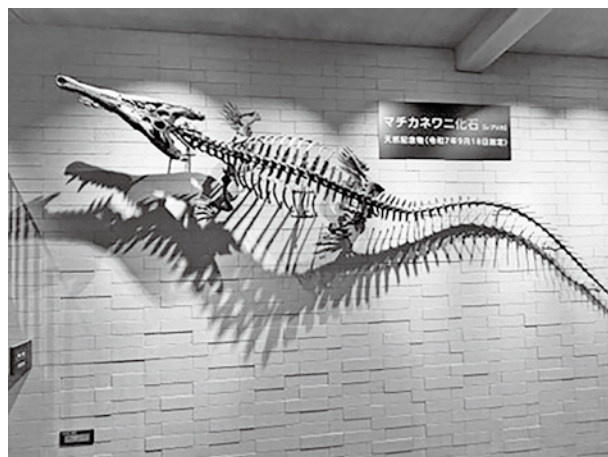
発見されたマチカネワニ化石は、頭の骨の長さだけでも1メートルを超え、体重は1.3トンと推測されています。中でも目を引いたのはその保存状態の良さです。全身の骨の約8割が揃って発見され、ほぼ完全な全身骨格が揃った世界で唯一無二の化石として、世界から注目されました。そうして、化石は奇跡の個体として、2014年10月に国の登録記念物、2025年9月には国の天然記念物に指定されました。マチカネワニは、今も大阪大学総合学術博物館で静かに時の流れを見つめています。また、市のキャラクター「マチカネくん」として、世代を超えて市民に愛され続けています。

しかし、この化石の魅力は、科学的な価値に留まりません。そこには、はるか神話の時空へとつながる世界が秘められています。その学名「トヨタマヒメイア・マチカネンシス」は、日本最古の歴史書である古事記や日本書紀に登場

する女神である「豊玉姫(トヨタマヒメ)」と、発見された土地「待兼山」に由来しています。豊玉姫はワニの化身と伝えられています。海神の娘である豊玉姫は、山幸彦と結ばれます。出産の際、彼女は夫に告げました。「本来の姿に戻って産むので、決して中を覗かないでください」と。しかし、その約束は破られます。夫の目に映ったのは、巨大な八尋和邇(ヤヒロワニ)となって、のた打ち回る彼女の姿でした。山幸彦に姿を見られたことに気づいた豊玉姫は、恥じて海へと帰ってしまいます。

この和邇が現代でいうワニを指すのか、あるいはサメを指すのかについては、長年議論されてきました。しかし、この豊中の地で化石が発見されたことで、ワニが日本に実在していたことが証明されたのです。もしかすると、マチカネワニのそばで暮らしていた古代の人々の言い伝えが、神話の原風景になっているのかもしれません。

かつて巨大な主が悠々と泳いでいたこの丘で、今、私たちは新しい街の物語を紡いでいます。足元に眠る壮大なドラマに思いを馳せる時、見慣れた豊中の風景は、新しい響きを帯びて私たちに語り掛けてくれるはずです。





編 集 後 記

日本の人口の50代以上が5割を越えたという。円安が進み、物価は上がり続け、加えてホルムズ海峡の治安悪化で、日常生活へのしわ寄せが加速している。温暖化が進み、水不足や山火事、害獣被害まで環境問題も深刻である。子ども達が担っていく未来を築いていくために、自分ができることを考えてみるのも私達一人ひとりの責任だと思う。

私達の「皆様の声を聴く」という役割は、日常生活を前進させることであり、将来へと繋ぐ責任の一端だと信じている。そしてこの「あし」が、これから先も脈々と会員同士を繋げていくと信じている。平穏な日常になることを願いつつ、次へバトンを繋ぎます。

編集委員会 原 さつき (北摂支部)



編集委員会コーナー

☆あし編集委員名簿☆

藤岡 晴美 (大阪第1)
 松浦 隆行 (〃) 副委員長
 辻江 正幸 (大阪第2)
 西村 譲治 (〃)
 原 さつき (北 摂) 委員長
 内田 幸代 (〃)
 角 咲子 (河内第1) 副委員長
 楠 好子 (〃)
 村井みさ子 (河内第2)
 河合 雅世 (〃)
 竹中 千世 (泉 州)
 武輪小百合 (〃)

行政相談委員機関誌

「あ し」第41号

発行日… 令和8年9月1日

編集・発行

大阪行政相談委員協議会

近畿管区行政評価局

総務行政相談部行政相談課

大阪府中央区大手前3-1-41

大手前合同庁舎11階

電話(06)6941-8358(直)

FAX(06)6941-8988

URL <https://osaka-gyouseisoudan.org/>

秘密厳守
相談無料

総務省行政相談センター

きくみみ

みんなの困った、きくみみで解決しよう！

みなさんの「困った」によりそい、幅広いご相談に対応しています。
誰もが気軽に利用できる場所、それがあなたの街の行政相談「きくみみ」です。
予約不要、相談無料。ひとりで悩まず、
ぜひご相談ください。

医療保険・
年金のこと

子育て
のこと

被災者支援
のこと

雇用
のこと



Govbotマスコット がぼたん▶



◀行政相談マスコット キクーン

こちらからご相談いただけます

きくみみ



お手軽に相談できる！
チャットボットも
ぜひご利用
ください！

国・地方共通相談チャットボット

ガボット

Govbot



0570-090110

または、お近くの行政相談委員へお気軽にお声がけください！

お気軽にご相談ください！

